

実施計画事業名		有害鳥獣対策事業		評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		建設産業部 農政課		課長(主幹)名	相馬 義則		
総合計画体系	分野	3	環境・生活				
	政策	3	環境問題への積極的な取組				
	施策	3	自然環境を守り共存を図ります				
	関連施策						
現状と課題	有害鳥獣の増加による生活環境被害が増大している						
目的	市民及び家畜等の被害を未然に防止する						
5ヶ年展開の	<ul style="list-style-type: none"> ・猟友会による熊、エゾシカ、キツネ、カラス等の有害駆除 ・カラス巢の撤去 ・アライグマ等の特定外来生物の防除 ・箱わなによる駆除 						
成果指標	名称	単位		21年度	22年度	25年度	
	農業被害額	千円		目標	↓	↓	
説明	有害鳥獣による農業被害額 (参考…H19値 4,264千円)		実績	1,400	1,200		
活動指標	名称	単位		21年度	22年度	25年度	
	駆除許可発行依頼件数	件		目標	10	10	
	説明	市に対し駆除の許可依頼があった件数 ※市経由道許可(クマ・エゾシカ) + 市許可(カラス・キツネ・アライグマ)		実績	7	7	
	巢撤去出動回数	回		目標	70	70	
	説明	カラスの巢の撤去依頼があり、出動した件数		実績	50	27	
				目標	-	-	
	説明			実績			
			目標	-	-		
説明			実績				
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)	千円	870	1,900	2,006	H22の増加は、市内裏山でエゾシカの一斉駆除を実施したことによる	
	国庫支出金	千円	0	0	0		
	道支出金	千円	0	500	0		
	起債	千円	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0		
	一般財源	千円	870	1,400	2,006		
	この事業にかかる職員数	人/年	0.35	0.20	0.20		
人件費(B)	千円	2,424	1,358	1,358			
計(A+B)	千円	3,294	3,258	3,364			
状況変化	<p>実施計画当初(平成21年～)からの状況変化</p> <p>国の財政的な支援を受け計画的に鳥獣対策を進めるため、平成22年12月に「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」に基づく「稚内市鳥獣被害防止計画」を策定するとともに、エゾシカの捕獲許可の権限について北海道から権限の移譲を受けた。</p>						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 特にエゾシカによる被害が大きく、草地更新したばかりの牧草の新芽が狙われるケースが多い。被害額については、各農家からの届出によるが、額の把握は難しいのが現状である。エゾシカによる生活環境被害が続いたことから、平成22年度は北海道の交付金を活用しながら、市内裏山でハンターによる一斉駆除を実施(50頭)した。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 平成22年12月に策定した「稚内市鳥獣被害防止計画」に基づき国の財政的な支援を受け計画的に鳥獣対策を進めていく。エゾシカについては、平成21年から北海道が「囲いわな」を用いる新しい取組を行ったが成果はあがっておらず、決定的な駆除方法が確立されていない状況にあるが、今後は、くくりわな猟の狩猟者の育成など、他地域での取組成果をみながら導入を検討する。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	b	コスト効率	a
総 合 評 価	B 見直しの検討が必要 <2次評価者の視点からコメントを記入する> エゾシカについては、多くの市民から被害報告があるため、捕獲頭数や方法等について、再考する必要がある。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--